

## 政策課題研究 7

### 豊かさを実感できる持続可能な滋賀の将来像と その社会実装支援に関する研究

持続可能な社会の実現に向けて、重要となる気候変動緩和策・適応策のデータベース化を行い、これら対策の導入を推進する上での障壁を明らかにし、実施要件および対策間の関係性を整理します。

また、対策の実施には、県民が感じる「豊かさ」が大切なポイントであると考えられるため、県民が感じる「豊かさ」の構成要素を明らかにすることで、豊かさ対策効果を定量化した「豊かさを実感できる滋賀の将来像」を作成し、提案します。

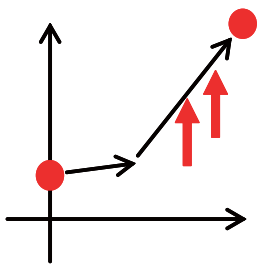
さらに、将来社会像の共有化促進、施策の実行、外部要因への柔軟な見直しを支援する進行管理手法（仕組みと指標）を提案し、将来社会像の社会実装を支援します。

#### <サブテーマ>

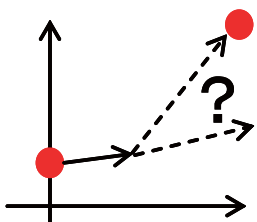
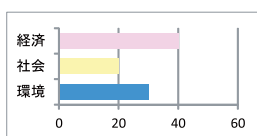
- ・将来像実現への障壁の抽出と克服のための対策を検討
- ・将来像実現のための社会実装支援に必要な対策効果など定量情報の作成
- ・豊かさを実感できる将来像作成や将来像共有化の促進および社会実装手法の提示

#### 【外部要因への柔軟かつ継続的な取り組みの進行管理手法の開発】

#### 計画の改善と促進



#### 計画の 目標達成評価



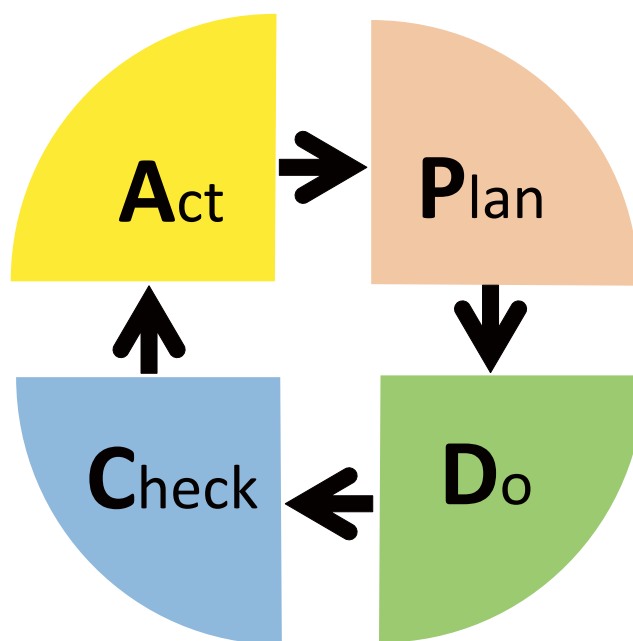
#### 持続可能な 滋賀社会ビジョン

(H20年3月策定)



#### 行程表(行動計画)

(H23年1月作成)



長期的な目標達成のためには、PDCAサイクルに基づいて、継続的な進行管理をしていく必要がある。

【現状における課題】

- 持続可能な滋賀社会ビジョンの策定
- 実現のための「行程表」の提示



外部の要因

- ・ 大震災の発生
- ・ 価値観の変化
- ・ 地方経済の低迷
- ・ 気候変動の深化
- ・ 少子高齢化の進行
- etc...

内部の要因

- ・ 県内での将来像の不浸透
- ・ 十分ではない進行管理
- etc...

2030年までの到達が厳しい

【課題解決に向けた対応】

① 将来像実現への障壁の抽出と克服のための対策を検討

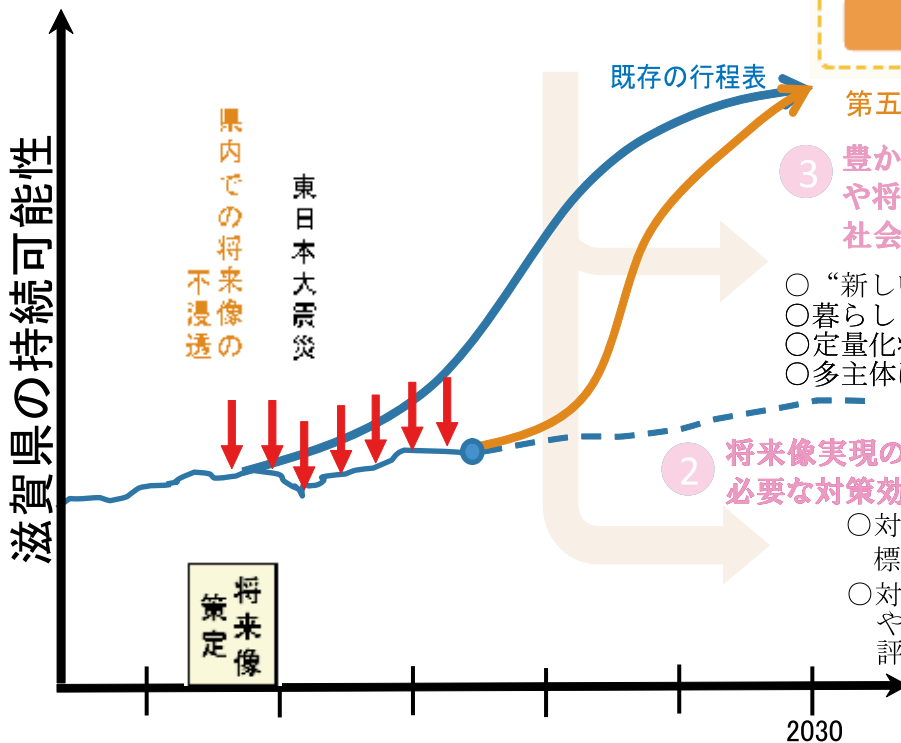
- 気候変動緩和策・適応策のデータベース化
- 進捗に影響を与えている外部要因および内部要因の整理と評価

滋賀からみんなでつくる新しい豊かさ

「自分の豊かさ」 「今の豊かさ」 「もの」の豊かさ

+

みんなが将来も持続的に実感できる「心」の豊かさ



第五期での行程表

③ 豊かさを実感できる将来像作成や将来像共有化の促進および社会実装手法の提示

- “新しい豊かさ”を表す指標の検討
- 暮らしと豊かさの関係構造の把握
- 定量化将来像の表現手法の検討
- 多主体による対話の場のデザイン

② 将来像実現のための社会実装支援に必要な対策効果など定量情報の作成

- 対策効果の定量評価のための指標づくり
- 対策の活性度の対策間波及効果や、対策間のつながりの強度が評価軸に与える影響の評価

○豊かさを実感できる持続可能な滋賀の将来像の構築を支援